

第 28 回教材生物バザール

令和 7 年 5 月 12 日（月）に、第 28 回教材生物バザールを開催しました。

教材生物バザールは、学校における教育内容を充実させるために、観察や実験に必要な教材生物を一
堂に集め、無償提供するとともに活用方法等を紹介する目的で実施するものです。また、教材生物をよ
り有効に活用していただくための冊子「教材生物バザール活用ブック」を作成し、参加者に配付してい
ます。

県内外の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校はもとより、広島大学、東京大学、東京農工大学、
県立広島大学、兵庫県立大学、神戸女子大学、広島県立農業技術大学校、広島市森林公園こんちゅう館、
広島市安佐動物公園、江田島市教育委員会大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）等の団体か
ら協力をいただき、延べ約 190 種類の教材生物等を提供又は展示することができました。

受領者は、提供者による教材生物の飼育方法や活用方法についての説明を聞くことを通して、教材生
物についての理解を一層深めることができました。

当日の様子



提供者による説明を聞くことができました。



その場で顕微鏡観察ができるブースもありました。



タッチプールの展示や教育プログラムの紹介もありました。



化石の展示や岩石の提供もありました。



提供されたイモリを受領者がすくっています。



苗や植物の提供もありました。



参加者の声（アンケートより）

<受領者（小学校）>

- ・生物の世話のポイントや観察のポイントなどを教えていただき、とても参考になりました。知らないこともたくさんあって、とても楽しかったです。このわくわくする楽しさを子供たちにも感じてもらえるように頑張りたいです。
- ・児童に見せたい生物、希望していたものを手に入れることができ、とても満足しています。なかなか本物を見せることが難しい中、このような機会を設けていただけることに感謝です。
- ・ご提供くださり大変ありがとうございます。理科の授業では、実物を見せることで生物や植物等のことがよく知れます。教科書にもない発見もしていきますので、本当にご提供ありがとうございます。これで、今年も子供たちの学力UPにつなげることができます。
- ・「メダカがいらないから困ったな」と思っていました。今日、たくさんのメダカをいただきました。さらに、メダカを飼う上でミナミヌマエビや貝などを一緒に入れておくことで、メダカにとってよりよい環境を作ることができると学びました。子供たちと一緒に上手に育てていきたいです。
- ・理科のスペシャリストとお話ができ、新しい発見があったのでよかったです。
- ・昆虫がなかなか身近におらず、捕獲に苦戦していたので助かりました。大事に育てて、学習に活用させていただきます。ありがとうございました。
- ・今年もいろいろな生き物をゲットできました。今年こそ学校で飼っている様子の写真など送りたいと思います。ありがとうございます。
- ・毎年お世話になっております。今年もミジンコやメダカ等、入手できました。実物を使っの授業は児童の反応が違います。近年中に提供者になれるように、あれこれと取り組んでおります。
- ・とにかく助かりました。0から「さがす」「育てる」時間を考えたら、とてもありがたい企画です。
- ・今年はメダカをたくさん頂けました。全滅させないように各担任に頑張らせませす。子供とともに生き物（生命）を大切に育てたいと思います。ありがとうございました。
- ・生物は年によってうまく育てられなかったものが出てくるので、とてもありがたい企画だと思っています。子供たちが生物を実際に観察し、世話をする経験を大切にしながら教科指導に励んでいきたいと思っています。

<受領者（中学校・高等学校・特別支援学校）>

- ・遺伝子の発現など、資料集の写真でしか見たことがないものが、実際の顕微鏡で観察することができました。以前も参加しましたが、植物やプランクトン、海藻等が充実しているのでとても助かります。アメーバなど、実物を持ち帰って生徒の観察・実験に役立てたいと思います。
- ・興味深い教材が盛りだくさんでした。授業の幅が広げられたらと思います。
- ・毎年参加させていただきありがとうございます。例年同様本当に素晴らしい企画です。提供者の方々、運営の方々に感謝しています。学校で子供たちにしっかり見て触ってを通して学びを深めさせます。
- ・野菜、花苗がたくさんあってとてもよかったです。児童生徒にいろんな植物の成長が見せられるのが楽しみです。

＜提供者（受領を兼ねる場合を含む）＞

- ・初参加でしたがこのような会が行われていることに驚きました。私が見ていた生き物もこのような会で提供されたものだったのかもしれませんが、広島大学の研究室として今後協力できたらと思います。
- ・長年継続して生きた生物を提供できるバザールは、全国でも素晴らしい取り組みなので、是非続けて欲しいです。たくさん提供したかったですが、うまく育てられず残念でした。次回、もし参加できたら頑張ります。
- ・小中学校の先生方の欲しいものをもっとリサーチすべきでした。今年は気温が低いため思ったように採集ができませんでした。
- ・教材の活用の仕方や飼育のコツなどの情報交換ができてとても勉強になりました。
- ・教材も素晴らしいですが、専門の先生方のお話を聞くことができ、毎年楽しませていただいています。
- ・様々なアイデアに触れられ、あまり見たことのない生物も見られ、とても良かったです。
- ・想定以上に喜んでいただけて良かったです。来年はもっとたくさん捕まえてきます。
- ・とても素晴らしいイベントだと感じました。運営の皆様は大変なのかもしれませんが、続けてほしいです。とりあえず宣伝します。
- ・今回、事前に欲しいもののリストがあったので、欲しいものを準備しやすかったです。今後も事前にリストがあれば準備しやすいです。
- ・普段から増やしている生物を喜んで持って行っていただけて、自分では増やせない生物や情報をいただけるのでありがたいです。
- ・他団体の出展を見ることができて面白かったです。私はまだ学生の身ですが、教育に関係する場所に参加でき、話を聞く経験ができて良かったです。来年も来たいと思います。
- ・先生方が対面で交流し、教材をどのように授業に活かすかを含めて情報交換する場となっていること、小中高等学校の先生方が交流する場になっていることに感銘を受けました。楽しかったです。
- ・提供生物の活用法について、もっと詳しい解説書を作成すべきだった。
- ・多様な生物の提供があり興味深かった。昨年提供した生物を学校で子供たちが興味をもって見ているという話を聞いてよかった。

実施状況等

(1) 当日参加者数

受領者	85 名
提供者（受領を兼ねる場合を含む）	89 名

(2) 提供又は展示された教材生物の種類数

約 190 種類

(3) 満足度

	受領者	提供者（受領を兼ねる場合を含む）
① 満足	85.0%	74.6%
② やや満足	12.5%	16.4%
③ ふつう	1.3%	9.0%
④ やや不満	1.3%	0%
⑤ 不満	0%	0%

(4) 受領した教材生物の種類数と延べ数

	受領者	提供者（受領を兼ねる場合を含む）
種類数（平均）	7.1	6.8
延べ数（平均）	24.8	16.5

(5) 提供・展示生物等

会場 1	モンシロチョウの卵、幼虫
会場 2	コダカラベンケイソウ、ユキノシタ、ムラサキツユクサ、サンショウ苗、ミョウガ地下茎、胚の発生モデル教材、錯覚の教材、ヌマムラサキツユクサ（9cm ポット苗）、ムラサキツユクサ（10.5cm ポット苗）、ユキノシタ（9cm ポット苗）、オジギソウ（7.5cm ポット苗）、ラッカセイ（9cm ポット苗）、スイートコーン（9cm ポット苗）、ゼニゴケ（雄株、雌株）、コスギゴケ、エゾスナゴケ野菜苗ホウセンカの苗（芽）、トウモロコシの苗（芽）、シダ植物の前葉体（配偶体）
会場 3	コダカラベンケイソウ苗、ミジンコ、ミニ瓶入り水生生物セット、バニラ苗、バタフライピー種子 栽培アドバイス付き、緑豆種子 栽培アドバイス付き、ゾウリムシ、クワの苗、ユキノシタ、除虫菊の苗、ヤマザクラ、イチヨウ、クリなどの苗、ミナミヌマエビ、アメーバ、テトラヒメナ、真正粘菌、イカダケイソウ
会場 4	メミユキメダカの稚魚と孵化前の卵、トクサ、ユキノシタ、シソ、多肉植物、メダカ、メダカの卵、ミナミヌマエビ、ラムズポー、温帯スイレンの苗、ナガバオモダカの苗、アザサの苗、ガガブタの苗、オジギソウの種、メダカ飼育アドバイスプリント、グリーンウォーター、メダカの手作り産卵床ワークショップ
会場 5	動物園飼育動物の骨格標本、血液塗抹の展示、ミドリイソギンチャク、イシマキガイ、ウニ類の裸殻等海産無脊椎動物の標本、人工海水の素、海辺の生き物イラストカレンダー、タッチプール（棘皮動物数種類、甲殻類など、カブトガニ）
会場 6	アゲハチョウの幼虫、プランクトン（ミジンコなど）、アゲハチョウ幼虫、スギナの胞子、カブトムシ幼虫、標本用甲虫乾燥死体、カブトムシの幼虫、ドジョウ、カブトムシの幼虫、つくしの胞子、ウミホタル、スミレ、紅色硫黄細菌、キイロショウジョウバエ

	(野生型および変異体)の樹脂サンプル、線虫 <i>C. elegans</i> (<i>C. エレガンス</i>)、カイコ(生体)、カイコ(まゆ)、昆虫標本、アルゼンチンモリゴキブリ、野菜苗、カブトムシの幼虫
会場 7	水生昆虫(ヤゴなど)、淡水魚(ドジョウ、メダカなど)、サワガニ、ミジンコ、アリジゴク、ウィローモス、ミナミヌマエビ、ゾウリムシ、ミドリムシ、ミドリゾウリムシ、ボルボックス、ヒドラ、オキナグサ(広島県芸北産 実生苗)、ヒゴタイ(広島県芸北産 実生苗)、セツブンソウ(広島県芸北産 実生苗)、ホウセンカ、ボルボックス、メキシコサンショウウオ幼体、グッピー幼体、アルテミア幼生、アマゾンフロッグピット(浮き草)、セイロンベンケイソウ、コケ植物、海藻標本、ウミホタル(風乾)
会場 8	オガサワラヤモリ、アフリカツメガエル胚の各発生ステージの標本、アフリカツメガエル胚の遺伝子発現領域を染色した標本、アフリカツメガエル胚の遺伝子操作により作製した双頭胚標本の展示および写真配布、ネッタイツメガエル胚の遺伝子発現領域を染色した標本の展示および写真配布、アカハライモリ、メンデルの遺伝の法則発見キット、染色体観察用クレピス種子、Amgen Biotech Experience のプロジェクト紹介、DNA レゴブロックモデル紹介、生化学入門カードゲーム「どうかな同化な!? 生化学」、「なりきり!細胞内リレーゲーム」、免疫カードゲーム「Immuno!」紹介、ゾウリムシ、コダカラベンケイソウ、アカハライモリ、コダカラベンケイソウ、化石、岩石

○教材生物バザールでは、オオカナダモやホテイアオイなど日本の生態系に悪影響を及ぼす外来生物の持ち込みを禁止しています。また、外来生物問題等、生態系を保全することの重要性を認識してもらうよう取り組んでいます。

○参考になる活用事例があれば、次のアドレスまで送付してください。

kykyouka@pref.hiroshima.lg.jp (教育センター教科教育部のメールボックス宛)